

平成26年度 笑顔輝く地域づくり支援事業 実績報告

番号	団体名
1	子育てサークルにじいろスイッチ
2	こどもまつり実行委員会
3	上浦幌スポーツ交流実行委員会
4	浦幌の自然を楽しむ会
5	とかちうらほろアーティスト・イン・レジデンス
6	うらほろ和ごころ体験塾
7	冬のイベント実行委員会

※内容は、各団体の報告書をそのまま記載することを原則に、一部要約させていただいています。

1	団 体 名	子育てサークルにじいろスイッチ
	事 業 名 称	子育て支援事業
	事業の内容	親子で気軽に参加できる講座や行事を通して、健康と子育てに関する知識や技術の向上を目指す。講座や行事を行うことで、子育てで孤立しがちな状況を解消し、地域や社会との繋がりを持つ。
	支援の内容	・補助金の額 96,179円（補助事業に要した経費：96,179円） ・公共施設の利用 ・町広報誌による周知
	事業評価等	<p>■事業評価 B（ほぼ計画通りに実施でき、予想していた程度の成果が得られた）</p> <p>■成果（上記の理由等） 小さな子供を連れて、たくさんの方に講座に参加していただけたことはとてもよかったですと思います。月に1回～2回の講座の予定でしたが、会場の関係や講師の方の予定などで毎月開催は出来ませんでした。健康や子育てに関する知識や技術の向上は出来ていたと思います。今後は、地域や社会との繋がりを持つような企画が出来ればより良くなるのではないかと考えています。</p> <p>■事業を実施する中で難しかったこと等（反省・問題点） 講師の方への講座開催依頼など日程の調整や、講座に参加される皆さんがどういいう講座の開催を望んでいるのかを把握することが難しいと感じました。今後は、アンケートなど情報収集が必要と考えます</p>

2	団 体 名	こどもまつり実行委員会
	事 業 名 称	こどもまつり 2014
	事業の内容	7月6日に「こどもまつり 2014」を開催した。こども達が安心して屋外で遊ぶことが出来る事や、また普段接することがなかなか出来ない事に触れることを目的とし、消防体験や折り紙を使ったコーナーの設置、木に触れ、ものづくりを体験するコーナーの設置などを実施する。
	支援の内容	・補助金の額 0円（補助事業に要した経費：665,867円） ・公共施設の利用 ・町広報誌による周知
	事業評価等	<p>■事業評価 B（ほぼ計画通りに実施でき、予想していた程度の成果が得られた）</p> <p>■成果（上記の理由等） 初の実行委員会化による本事業の実施であったが、例年実施していた雪を使用したイベントが天候や予算の関係で出来ず、やはり一般来場者からも雪に対しての要望の声も少なからずあった。しかしながらそのような状況下でも、様々な団体や一般の有志者が結束し、様々なアイデアで以て従来の事業に決して劣らぬ内容での実施が出来、また情報交換等の交流の場ともなったことが成果として挙げられる。</p> <p>■事業を実施する中で難しかったこと等（反省・問題点） 事業実施に係る収入予算の大部分を協賛寄附に頼らざるを得なかった為、その枠組みを越えることがないように徹することが重要であることは勿論だが、それ故例年よりもスケールダウン感は否めない。実行委員会で収益を上げ、最終的にそれに頼らない方策を模索しているが、少なくとも要望にあがった雪を使用する為に、運搬から何より夏場までの保管等への一定の補助があれば、今年度の委員会形式による様々なアイデアを持ち寄った事業内容との相乗効果がより一層見込まれる。</p>

3	団 体 名	上浦幌スポーツ交流実行委員会
	事 業 名 称	上浦幌スポーツ交流事業
	事業の内容	ソフトボール大会を8月23日に上浦幌中学校で開催した。29名が参加し、交流を深めた。
	支援の内容	・補助金の額 12,716円（補助事業に要した経費：21,388円）
	事業評価等	<p>■事業評価 B（ほぼ計画通りに実施でき、予想していた程度の成果が得られた）</p> <p>■成果（上記の理由等） ソフトボールを通じて幅広い年齢層の交流ができた。また、家族連れで来ていただき、大会を盛り上げてくれた。参加者も運営に携わり、来年も開催してほしいとの意見が多かった。</p> <p>■事業を実施する中で難しかったこと等（反省・問題点） 周知は、町の広報と一緒に回覧したが見ていない人が多かった。期待していた40代・50代の参加が少なかった。</p>

4	団 体 名	浦幌の自然を楽しむ会
	事 業 名 称	うらほろ魅力〔自然〕発信事業
	事業の内容	観察会（3回）、植物の標本作成講習会（1回）、「春の花」写真展（1回）を開催した。
	支援の内容	・補助金の額 169,965円（補助事業に要した経費：180,862円）
	事業評価等	<p>■事業評価 B（ほぼ計画通りに実施でき、予想していた程度の成果が得られた）</p> <p>■成果（上記の理由等） 会の発足が6月で、本事業申請が7月、事業決定通知が8月と植物の生育期間後半となったため、採集活動が思うように出来なかった。現地での観察会、購入した用具を使った標本作成講座を開催し、会員以外の町民の参加があり良かった。3月には新たに「春の花」写真展を開き、大勢の方々に浦幌の自然の一端を伝えることが出来た。</p> <p>■事業を実施する中で難しかったこと等（反省・問題点） ハイコウリントンポポの駆除では、東山地区一帯に繁茂していることを確認。手に負えない状況になっていた。毎月の観察会は大変なので、個々の観察結果を集約することを考えたい。新年度は「夏の花」「秋の花」の写真展を開催したい。</p>

5	団 体 名	とかちうらほろアーティスト・イン・レジデンス
	事 業 名 称	とかちうらほろアーティスト・イン・レジデンス事業
	事業の内容	<p>1 アーティスト・イン・レジデンス</p> <p>① 海外若手アーティストの公募・選定による招聘 (タイ人Kaensan Rattanasornrark 1名 H26/8/24-H26/10/31)</p> <p>② ウェルカム・パーティ (H26/8/24 12時～14時)</p> <p>③ アートワークショップ (H26/9/26 15時～17時、H26/10/11 14時～16時 浦幌)</p> <p>④ 招聘アーティストによる地域における制作活動の過程および招聘アーティストの成果作品と地元アーティストの展示による交流 (H26/10/17-10/26 浦幌森林公園)</p> <p>2 とかちアート・カフェ</p> <p>地域の新鮮で安心な素材を使った美味しくて美しい食べものを創り、地域生活を楽しむ機会を創出・発信</p> <p>① 専門家によるワークショップ (H26/10/25 13時～15時 浦幌コスミックホール)</p> <p>② その成果を活用した仮設カフェにおける試飲食 (H26/10/25 17時～19時 浦幌コスミックホール)</p>
	支援の内容	・補助金の額 500,000円 (補助事業に要した経費: 980,338円)
	事業評価等	<p>■事業評価 B (ほぼ計画通りに実施でき、予想していた程度の成果が得られた)</p> <hr/> <p>■成果 (上記の理由等)</p> <p>昨年アーティストのサポートやアテンドに参加していただいた地域住民のみなさんに加え、今年度は建設業やサービス業に従事する方々に参加いただけた。アーティストが参加した浦幌神社のお祭りが地元紙の取材を受けるなど、浦幌町に関する発信がなされ、さらに展示期間中に東京から観覧者が来町した。高齢者施設でのワークショップでは入所者の皆さんにたいへん喜ばれ、成果は町民文化祭に展示することができた。学童保育所でも子供たちが楽しめた様子だった。</p> <p>アートカフェには浦幌町外からの参加があり定員以上の申し込み参加となった。参加いただいた方々から、来年度の実施への意欲が見られた。</p> <hr/> <p>■事業を実施する中で難しかったこと等 (反省・問題点)</p> <p>住民の皆さんにさらに広く周知するためのスケジュール調整や連絡体制の構築が必要であると考えている。</p>

6	団体名	うらほろ和ごころ体験塾
	事業名称	うらほろ和ごころ体験塾事業
	事業の内容	5月31日 日本の着物についての学習・蓬餅つき 31名参加 6月21日 日本茶についての学習 33名参加 7月26日 民謡・三味線・流しそうめん体験 100名参加 11月17日 道德教育講演会 57名参加 12月12-13日 道德教育講演会 50名参加 1月17日 書初め体験 20名参加 3月21日 家族で防災について学ぼう 71名参加
	支援の内容	・補助金の額 199,655円（補助事業に要した経費：278,655円）
	事業評価等	<p>■事業評価 A（計画通り実施でき、予想以上の成果が得られた）</p> <p>■成果（上記の理由等） 四季折々の企画した事業に多くの方に参加していただき、有意義な活動ができた。また、事業を通じて三世代の親睦交流が図れた。今年で3回目となる防災学習では、年々地域防災への意識が高まっていることを感じた。 活動を浦幌町と共催することで、参加人数も増え、事業内容ともに充実した活動ができた。</p> <p>■事業を実施する中で難しかったこと等（反省・問題点） 土曜日、日曜日は少年団活動（大会等）と重なるため、事業の日程調整が難しい。</p>

7	団体名	冬のイベント実行委員会
	事業名称	しゃっこい・ナイト・イン・うらほろ事業
	事業の内容	2月14日に「しゃっこい・ナイト・イン・うらほろ」を浦幌小学校で開催した。「こども達が元気いっぱい楽しめる冬のイベント」という趣旨のもと、雪合戦、雪の滑り台、雪像等、冬ならではのアクティビティを行った。
	支援の内容	・補助金の額 180,052円（補助事業に要した経費：180,052円） ・後援名義の使用、各種備品の借用、公共施設の使用 ・イベント会場への雪の運搬・整地、広告宣伝用のチラシ印刷など
	事業評価等	<p>■事業評価 B（ほぼ計画通りに実施でき、予想していた程度の成果が得られた）</p> <p>■成果（上記の理由等） たくさんの方に来場いただき、楽しかったという感想を多くいただいた。若者同士のつながりを作ることが出来た。</p> <p>■事業を実施する中で難しかったこと等（反省・問題点） 準備が思うように進まず、時間に追われてしまった。仕事の割り振りが上手くできなかった。こども達に依頼したモザイクアートの写真やランタンを全員から回収することが出来なかった。</p>